

夕刊 新報 行發日三月六

文明は郷土より

私に近況二ツ... 勿來 生

病める窓邊より 一葉みどり

男の戀心 源公

元祿名妓傳 小色井小巴

初夏のサロン 樽詰生ビール

度量衡計量器 吸入用酸素

お醤油は ヤマフル

抄筆微笑 石城でも二度米

一日一禪 西六ノ一工學雜誌

新刊紹介 船中の是れを聞いて

元祿名妓傳 小色井小巴

初夏のサロン 樽詰生ビール

度量衡計量器 吸入用酸素

お醤油は ヤマフル

門其上に座し、其處へ勝田...

徳三郎とござる、公用とは...

徳三郎とござる、公用とは...

徳三郎とござる、公用とは...

徳三郎とござる、公用とは...

徳三郎とござる、公用とは...

徳三郎とござる、公用とは...

診察時間線 午前七時より

難波醫院 醫學博士 難波 健

釜屋商店 磐城セメント特約代理店

西村屋藥店 平二 西村屋藥店

木村病院 産科 婦人科 院長 木村寅次郎

海草蒸氣療法! カイソネーチャの出現!

山崎合名會社 味噌醬油 たひら正宗

廣告 四倉町新須賀

市原病院 院長 市原卯太郎

上田科醫院 院長 上田耕作

木村外科醫院 電話三〇九

度量衡計量器 吸入用酸素

お醤油は ヤマフル

山崎合名會社 電話(本店)二七番

# 前年の同期に較べて 約一割方の送炭減少

## 常磐炭礦各山元發送高に就て 掛け値のない五月中の統計

常磐炭礦聯合會では十日毎に『常磐炭山元發送  
句報』なるものを前年同期との比較増減其他  
を製表し各社の参考にして之れに於て  
(自五月三十一日同三十一日送炭高)  
(營業用)三、四六二車四〇、九二二噸(鐵道  
省用)一、一七九車一七、三〇二噸合計四六  
四一車五八、二二四噸  
前年同期に比し七百七十車四千五百七十一噸を減  
じているが去月中の統計は  
(營業用)九、九三三車一三、〇三〇噸(鐵  
道用)三、五五〇車五〇、九七五噸合計一三、  
四八三車一六四、〇〇五噸  
前年同期に比し七百七十車四千五百七十一噸を減  
の激減を示し況に於て不承の深刻なるを首肯  
せしむるものがある

## 青年指導員講習會

### 來月中中、平商で開催 各町村日決定す

本縣では青年訓練所生徒の  
入所率の成績が依然として  
振はず當局から各市町村役  
場並に學校當局に通牒し極  
力入所率の増大を促す一方  
この率を高める爲め縣下青  
年訓練所の主事會議及び指  
導員の講習會を開く事とな  
つてゐるがこの期日對會場  
が左の如く決定したしかし  
て來る七月一日は恰も青年  
訓練所創立五週年に相當  
し本縣青年訓練所の前途を  
トすき今回の事業は非常  
に重要視され訓練所として  
の充實普及獎勵並に振興策  
として各種の事項の協議が  
遂げられる譯であるがこの  
指導員講習會を開催するに  
當り創立記念の催しをなす  
ため縣教育課では種々準備  
中であるがなほ講師は縣社  
會課主事又は教育主事補が  
修身及び公民科と教練科の  
連絡につき一時間半、縣職  
託の訓練指導教官又は中等  
學校配屬將校が教練の實際  
を試みる事となつたがこの  
結果による郡下の青年訓練  
所の成績は見るべきものが  
あらうと見られてゐる

## 石城地方でも 二度米が穫れる

### 植田町の試作 意外の好成績を収む

稲の二期作は從來臺灣、九非常な好成績を収めつて普  
州四國の一部に於てのみ行なつてより優ると劣らぬ收  
は關東、東北方面に於てを豫想されてゐるが該二  
は全く不可能視されてゐたが昨今平商會専屬農務技  
師が昨今植田町大字東田の篤手の指導同會専屬農務技  
師赤津傳吾氏が研究的に昨年度の統計に就て五月  
少しばかり之れを試みた處二月下旬温床に播種し五月  
意外にも大好成績を得た八日播種を了し八月中旬第  
で今年度は更に地面を擴張一回の收穫すると同時に連  
して試作しつづつあるが之亦播種し十一月中旬第二回  
年寄りの大抵は想像がつかま  
らぬが、そこへ行くと殿方は複雑  
な顔つきで、エロもあればグロ  
ト若くは、中年から老後まで、  
一若くは、中年から老後まで、  
ト若くは、中年から老後まで、  
ト若くは、中年から老後まで、

## 平町新風景

### ホケツト透視 持ち物の上に躍如たる 殿方達のお人柄

お年寄りの大抵は想像がつかま  
らぬが、そこへ行くと殿方は複雑  
な顔つきで、エロもあればグロ  
ト若くは、中年から老後まで、  
一若くは、中年から老後まで、  
ト若くは、中年から老後まで、  
ト若くは、中年から老後まで、

## レキヤラバン けふ堂々と平入り

### 元署跡に車体を陳列し あすは警察署で發聲演説

シボレー大キヤラバン隊は臨む事となつてゐる。同  
隊の如く急々三日午前歡迎會には右の外各官公衛  
九時水戸を發し途中高萩、新開、町内有力者  
部、田人、飯野、鹿島、  
原を経て本縣に入り、縣界列席の管にて本縣一行の  
にて平町より出迎へる福勢を多し花輪を贈呈した  
島自動車協會平町支部長外役、向福島モーター商會大森  
平、並に福島モーター商會氏の語るに於ては下  
田、泉、小名濱、湯本を經て當町各學校教員生徒の参  
由し、午後二時半平町に到觀を勵むる由につき明  
着、直ちに警察署、町役場等日の展覽會及び警察署で午  
に敬意を表し、洗車の上午後四時、四時、六時の三回  
日の展覽會場たる元警察署に於ては、休養に當り、意外  
跡空地に格納され、休養に當り、意外  
入つたが一行は、サービ  
部長サウロリン氏隊長と  
て加はり、副隊長には當町  
に關係深き音田定次郎氏参  
加されこの外幹部社員七名  
役員及び運轉手等合計四十  
名の大多数に上り一日の經  
費約一千圓を要す、尙ほ  
一行は午後七時四十分目  
トモールに開催する自  
動車協會支部主催の歡迎會

## 各町村豫算 一割三分減少

石城郡内各町村の六年度度  
入歳出豫算は總額百四十萬  
二千四百五十一圓で前年度  
に比し二十一萬四千七百九  
十五圓(一割三分)の減であ  
る

## 古河軍樂隊 廿六日來郡

平町でも開催か  
既報足尾銅山の軍樂隊一行  
二十數名は廿六日午前八時  
警署跡にて平町警察署前  
に遊び向夜好間に赴き古河

## 熱球を夏飛ばして 健棒に覇を争ふ

### 参加警中外五校 時報の野球大會迫る

同業警報社主催の第三  
回縣下中等學校野球大會は  
來二十、二十一の兩日警署  
グラウンドに於て開催の旨  
が進行はれるものと觀られて  
既報の通りであるが本年の  
参加校は  
双葉中學である

## 出物腫れ物所嫌はず クサメの爲に捕はる

小川村下小川無職海野三見  
(一)假名は昨二日前午十一  
時平町白銀町金屋伊藤林  
之助の留守宅に兩戸の錠其  
を捻り切り忍び込み寶物  
金を強奪せんと家捜し中  
守居番である林之助次男  
吉が活動から歸宅した  
吉が活動から歸宅した  
吉が活動から歸宅した

## 求職者の 大金置忘れ

丸尾店員の喜び  
求職者は昨六月十一日  
求職者は昨六月十一日  
求職者は昨六月十一日

## 伯樂を告訴 好開村の農婦

馬を誤魔化す  
永戸村大字永井伯樂農務技  
師(一)は去る一月中旬好  
村大字岩間農小畑キヨ方  
に至り持馬を八十圓で買  
てやると稱し手付金十圓を  
置いて立去つたが其後再三  
右代金を請求したが言を左  
右に托して應ぜず最近右の  
代金を費消して終つた事が  
判明したのでキヨは今日三  
日署に訴へ出た

## 減俸問題の怪文書 平町の某鐵道關係へ

其筋で出所嚴探中  
減俸問題に關する平町在住  
鐵道關係者の動搖は既報の  
に於て述べた通りである  
つた折柄此の程突如として  
過激な文辭を聯ねた署名

## 吉田眼科病院 平町紺屋町

特價大賣出し  
御座敷敷  
武者人形  
布鯉類  
金太郎玩具店  
平町三丁目

## 披露のため 更科をば開始

六月三日ヨリ 全五日マテ  
アイスクリーム!!!  
平町三丁目 藤よし

## 御得意本意特價賣出し 武者人形 布鯉類一式

夏季用ス、竹飯櫃  
平町三丁目  
叶星提灯店

## 伏見直江の大工殺陣 活女 新時代に生る

竹松 月形龍之助、千早昌子  
竹松 劍道見世物師  
竹松 二一十錢  
四日ヨリ 松竹平館

## 松村醫院 院長 松村鐵郎 平町南町電一〇七

## 安齋外科醫院 電四七五番

## 吉田眼科病院 平町紺屋町

吉田眼科病院  
平町紺屋町